

## 農×移住フィールド講座「田んぼの1年生2024」

### ■概要

小さい区画でお米を育てる、できるだけ機械を使わず、手作業でできるスキルを学ぶ、お米を育てるために必要な水や環境、農地のことについて知識を得る、農村の集落の中で、“農”にかかわることを実体験してみる・・・

苗を作るところから玄米が手のひらにのるまでの約8～9か月、全10回の講習を通して、じっくりと学びと実践に取り組みます。

目指すはお米作りでの「自立」！手間はかかるけれど確実な“豊かさ”。ご一緒にどうですか？

### ■開催地A：京都部南丹市日吉町中世木

- ・4月～11月の主に土曜日開催
- ・初回開催：令和6年4月13日（土）9:30～16:00ごろ
- ・共同の田んぼにて協働でお米作り／減農薬（除草剤1回のみの予定）

### ■開催地B：京都府南丹市園部町半田

- ・4月～12月の主に日曜日に開催
- ・初回開催：4月7日（日）9:30～16:00ごろ
- ・1人または1組が50～60㎡の小区画でお米作り／無農薬

### ■参加費

- ・1人30,000円／2人1組45,000円（全10回の定例日参加費、保険代、必要な道具、収穫したお米込み）
- ・作業着、昼食等をご自身でご準備ください。

### ■その他

- ・全10回／月1～2回の定例日と、自由作業日の組み合わせで実施します。
- ・稲の生育具合や天候等により、変更になることがあります。
- ・初回以降の年間予定はお問合せ下さい。

### ■オンライン説明会

- ・令和6年3月19日（火）20:00～（30分程度を予定）
- ・参加ご希望の方は事務局メール：tsumugi.nantan@gmail.com



※詳細はつむぎホームページ：https://tsumugi-kyoto.net/2024/03/07/smallfarmproject2024\_tanbo/

※お問合せ・お申込みは事務局メール：tsumugi.nantan@gmail.com または お申込みフォーム



本リリースに関するお問い合わせ先

南丹市 地域振興部 地域振興課 担当：下田 TEL0771-68-0019

開催地①南丹市日吉町中世木地域

最寄り：JR 山陰線日吉駅

開催期間： 4月～11月

初回開催日： 4月13日（土）



開催地②南丹市園部町半田地域

最寄り：JR 山陰線園部駅

開催期間： 4月～12月

初回開催日： 4月7日（日）



2024

農×移住フィールド連続講座

# 田んぼの1年生

## ①②共通事項

定例日：計10回（月1～2回）+自由作業日

定例日開催時間：各回9：30～16：00頃

## 参加費

1人 30,000円/年

または 2人1組 45,000円/年

（10回の定例日参加費、保険料、必要な道具、他込）

※詳細は裏面をご参照ください。

問合せ・申込み

特定非営利活動法人つむぎ

[tsumugi.nantan@gmail.com](mailto:tsumugi.nantan@gmail.com) または


自分でお米を作りたい！

将来、小さい田畑で自給したい！

農業したいけど、まずは試したい！

ちゃんと習ったことないけど・・・

初めてでもできるかな？

小さい区画の田んぼで、自立してお米作りができるようになるための基礎知識やワザ、地域との関わりなどについて、計10回の実践&学びを通して身につける連続講座です。

## 里山豊かな南丹で、つくる暮らしをはじめましょう

- ① 日吉町中世木地域では、約350㎡（3.5アール）（予定）ほどの田んぼで、減農薬と一緒にお米を育てます。
- ② 園部町半田地域では、大きな田を1区画約50～60㎡（予定）に区切り、1人/1組が1区画を担当し、無農薬でお米を育てます。
- ①②共に、収穫したお米は作った皆さんで持ち帰ります。2年目以降は、広さやより自立度をあげて取り組むことなど、相談可能です。



①畔はどうやって作る？水はどこから？草は何回刈る？どうやったらたくさん採れる？などなど、お米を育てるための作業、工程、必要な道具や知識を地域の方から学びます。

②草を刈る範囲や水の使い方など、集落それぞれにあるルールを学びます。

③小さい田畑でも草刈りは必須！エンジン式刈払い機（主にコード式）の使い方とメンテナンスをマスターしよう！

④将来、自立して小さい田んぼをするために、農地の取得や管理など、公式なまきまりについて学びます。

⑤小さい田畑でも地域の農業や作物などについての知識は大切！地域の農業について学びます。



**年間予定** ※天候や生育状況等により内容が変更になることがあります。

- 4月 種もみまき、田んぼ準備（水路掃除、電柵補修など含）、刈払い機講習会
- 5月 畔塗り、田植え
- 6月～8月 草取り、草刈り、水の管理、座学
- 9月～10月 稲刈り、稲木干し、脱穀、粳摺り
- 11月～12月 収穫祭、1年のまとめと終い仕事

### 参加費に含まれるもの

- ・定例日合計10回の実践型講習+自由作業日
- ・必要な農機具の利用※1 ・保険代
- ・田んぼの状況の定期配信 ・収穫したお米
- ・定例日以外での施設利用※2
- ・年間村人パスポート※3

※1 作業着、昼食はご持参ください。

※2 駐車、休憩、着替え、トイレ利用可

※3 定例日以外での援農やのんびり訪問に！ ※4 最寄り駅からの送迎はご相談ください。

- ・全体日程は、お問合せ/お申込みいただいた方にお知らせします。
- ・稲が育つ期間中は、定例日以外でもできるだけ作業にお越しくください。
- ・夏の作業と水管理の学びのために、夏の間、泊りでの定例日を1回予定しています。その際の食費、泊りの実費費用は別途ご準備ください。

この講座は、中世木中山間組合、ココベリファーム、日吉町森林組合のご協力を頂き実施しています。後援：南丹市

つむぎは、南丹市移住ガイドブック「楽しい移住」（2019年）の作成や、農×地域シンポジウムおよび当講座の開催などを通して、移住促進、担い手育成、里山環境の維持などに取り組んでいる団体です。HP <https://tsumugi-kyoto.net/>